



礼拝堂を中心としたキャンパスとエントランスコート

設計趣旨

■礼拝堂を中心に交流を育むキャンパス

既存校舎狭小化のため、仙台市郊外に移転した、中高一貫校である。

キリスト教主義、中高一貫教育の実践に適した空間構成とした。

・6年間の学生生活に変化が生じるよう中高の普通教室群は南北に分離し、中央に毎朝の礼拝が行われる礼拝堂（2000人収容）を配置し、円滑な動線確保した。

・南北に分離した中高普通教室の間に共用となる特別教室やメディアセンターを配置し、利便性の向上と学年を超えた相互交流を図った。

■中高一貫教育を生かしたインタラクティブな空間
集い、啓発しあい、人間関係のネットワークを築く、多様な出会いや交流が育まれる空間創りに努めた。

・小さな吹抜けやテラスをつないだ廊下やラウンジをはじめ、大小様々なスケールの多彩な空間を設けた。

・普通教室群の中間部に特別教室を平屋で展開し、屋上テラスとした。特別教室間には中庭を設け、コミュニケーション空間が立体的に繋がる空間とした。

・教室の中心で屋上テラスに面しメディアセンターを配置し、明るく開放的な空間としている。

・体育館はバスケットコート4面の広さと、柔剣道をはじめとした各種スポーツの専用空間や屋外の雨天練習場なども併設してスポーツを通じた活発な交流を育むことができる空間とした。

■人と環境への優しさを考える学校

段差のない床、多目的トイレの設置など人に優しい施設創りは当然として、分かりやすい空間構成、鋭角でない出隅など安全性の高い校舎とした。

・ドラフト効果を利用した自然換気システム、太陽熱利用の集熱屋根、太陽光発電、日射制御と昼光導入に効果の高いライトシェルフ、自動調光設備、屋上緑化、工業用水の利用など、環境に優しい施設をめぐり、省エネルギーに取り組んでいる姿を視覚化することにより、学校全体が環境を考える場となることを意図した。



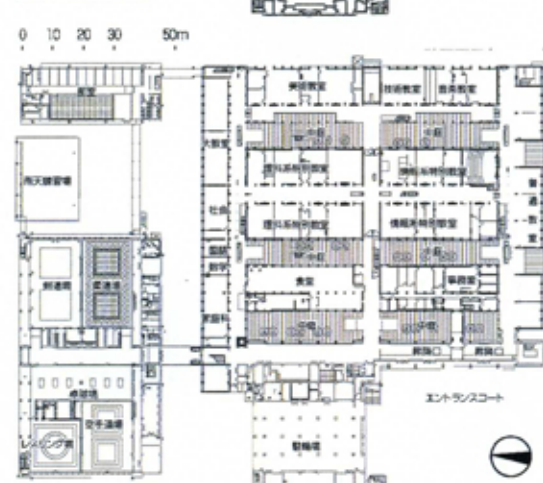
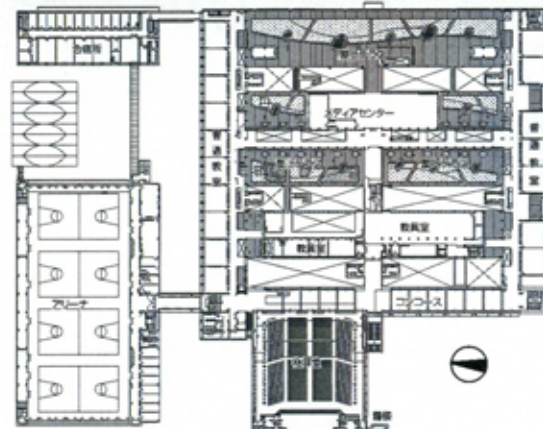
ランチコートと特別教室の屋上に配置したテラス

建物概要

建物名称：東北学院中学・高等学校
発注者：学校法人東北学院
用途：中学高等学校
所在地：仙台市宮城野区小鶴高野 123 番 1
設計監理：株式会社日建設計
施工：前田建設工業・銭高組・日本国土開発・橋本・奥田建設JV

規模

構造：RC・PCa・S・SRC造
階数：地上4階、塔屋4階
敷地面積：97,405.61㎡
延床面積：36,470.67㎡
設計期間：2000年7月～2001年12月
工事期間：2003年4月～2004年10月
主な外部仕上
屋根：亜鉛メッキステンレス鋼板
外壁：磁器質タイル、化粧打放しコンクリート
主な内部仕上
床：リノリウム、壁：化粧打放しコンクリート



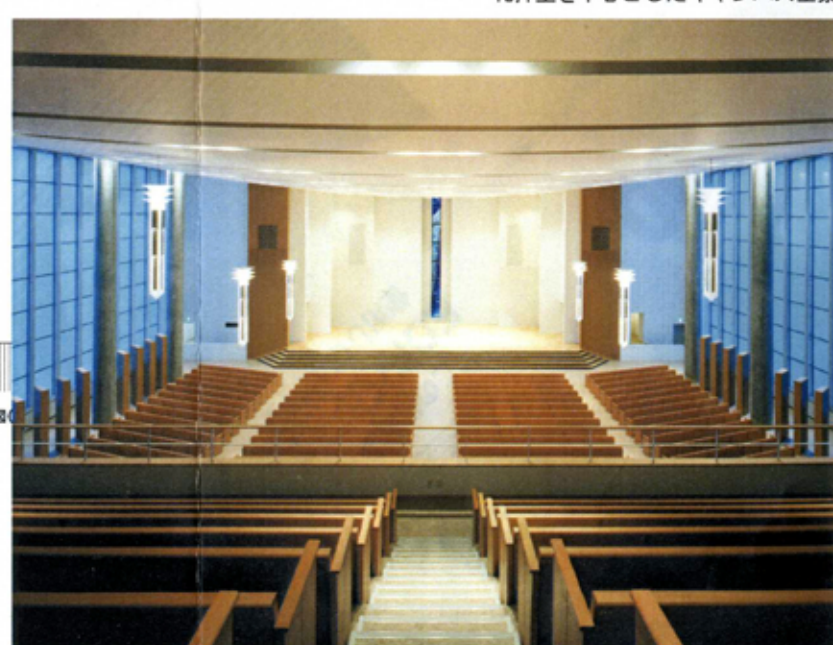
普通教室ファサード
3mグリッドで施設全体のモジュールを構成し、フレキシビリティの向上を図った。柱はプレキャストコンクリート、梁は鉄骨化し、階高を抑え、コスト、工程面でのメリットを活かした。3mピッチの柱はそのまま外観に表し、水平のライトシェルフとあわせて、日射制御の機能を担っている。



普通教室前吹抜
普通教室前の廊下はゆとりを持たせ、上下の動線、ラウンジ、テラス、を立体的に配置し、それぞれを小さな吹抜けで繋いだ空間構成とした。多様な空間がコミュニケーションを誘発するよう意図した。



礼拝堂を中心としたキャンパス全景



自然光あふれる2000人収容の礼拝堂



自然換気システムを活用したアリーナ